

特殊詐欺被害と相談状況抜粋(令和元年12月中)

番号	種別	相談受付日・被害届出日	場所	情報提供者	相手方	相手方の文言等	被害
1	融資保証金	12月2日 午後5時 ころ	松山市	男性 60歳代	FAX 融資会社社員を名乗る男 (被害額:約34万円)	「事業強化特例融資」というFAXが届き、連絡したところ「融資を受けるために保証金を振り込む必要がある」と言われたもの。	有
2	オレオレ	12月10日 午後0時ころ	今治市	女性 70歳代	固定電話 息子を名乗る男	「俺だけど、2時頃に帰るから、2人だけの話で他の人には言わないで。株をやっているんだけど、300万円必要だ。」	無
3	オレオレ	12月13日 午後6時ころ	西条市	女性 70歳代	固定電話 警察官を名乗る男	「最近空き巣が発生している。被害に遭ってもいけないため、通帳を預かりに行く。」	無
4	オレオレ	12月18日 午前11時15分ころ	今治市	女性 80歳代	固定電話 市役所職員を名乗る男 金融機関職員を名乗る男 (被害額:約107万円)	「令和になり、キャッシュカードを切り替えていないと使えませぬ。家まで行くのでキャッシュカードを渡してください。」	有
5	架空請求	12月19日 午後1時30分 ころ	四国中央市	女性 70歳代	ハガキ 通信販売会社を名乗る者	「至急ご連絡のお願い」「支払期日までに支払確認が取れない場合は解約させていただき、債権回収の委託、差押えを含む法的措置の手續に進みませぬ。」	無
6	架空請求	12月25日 午前11時ころ	松山市	女性 50歳代	メール 通信会社社員を名乗る男 (被害額:約30万円)	「ご利用料金の確認が取れていません。本日中午にご連絡ください。」「30万円分の電子マネーで支払いをしてください。明日までに支払えば、訴訟されませぬ。」	有